

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	理科	科目	科学と人間生活 【○】必修【 】選択			単位数	2
担当者	奈良 武彦	水谷 秀樹	田中 康之				
使用教科書	改訂版 科学と人間生活 東京書籍						
使用副教材							
スクーリング(S) 義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2		
科目の内容 目標等	身近な自然の事物・現象や、暮らしや社会で活用されている科学技術に興味・関心をもち、それらの科学的な原理を理解し、科学的な探究活動に挑戦できることを目標とします。						

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a・b 講座			c・d 講座			e 講座			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限	月日	曜	時 限	月日	曜	時 限			
5/10	日	4	4/27	月	4	5/10	日	2	身の回りの微生物	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/7	日	5	5/27	水	4	6/7	日	3	食品と微生物	R1	
6/24	水	3	6/3	水	2	6/29	月	2	衣服の科学	R2	
7/5	日	5	6/8	月	4	7/5	日	2	食品の科学	R2	
7/19	日	1	7/13	月	3	7/19	日	5	金属の性質とその再利用	R3	
8/26	水	2	7/19	日	6	8/31	月	3	プラスチックの性質とその再利用	R3	
9/13	日	6	8/31	月	3	10/21	水	4	光の進み方とその基本的な性質	R4	R4~R6 合格で 12月以降 テスト2 受験可能
11/2	月	2	10/4	日	4	10/26	月	3	目に見える光・目に見えない光	R4	
11/15	日	2	11/15	日	2	11/15	日	2	熱とは何か	R5	
11/25	水	3	11/25	水	3	11/25	水	3	エネルギーの利用と私たちの暮らし	R5	
12/20	日	5	12/20	日	5	12/20	日	5	身近な自然景観の成り立ち	R6	
1/27	水	3	1/27	水	3	1/27	水	3	自然災害と防災	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
5/24	日	3,4	個別指導	理科全講座	朱雀高
6/21	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	理科全講座	京都八幡高
7/13	月	1	個別指導	理科全講座	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
9/27	日	5,6	個別指導	理科全講座	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
11/29	日	1,2	個別指導	理科全講座	京都八幡高
1/10	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/20	水	3	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/24	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/24	日	3,4	個別指導	理科全講座	京都八幡高
1/31	日	7	個別指導	理科全講座	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/02	水	21:00	レポート1、2	・内容不備→受付不可→未提出扱い ・内容不十分→再提出不可
最終	2/03	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められる。 ・面接指導に意欲的に出席することができる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・添削課題の取組では、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能の応用に課題が見られ、適切に思考・判断し表現するためには、さらなる努力を要する。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備は不合格(評価1)とし再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は評価1で再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	理科	科目	生物基礎			【○】必修【】選択	単位数	2
担当者	秦 詩緒美		水谷 秀樹	戸田 和樹	田中 康之			
使用教科書	生物基礎 改訂版 啓林館							
使用副教材	なし							
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2		
科目の内容 目標等	生物の多様性と共通性をテーマに、細胞、代謝、遺伝子とDNA、恒常性、免疫、植生、生態系のバランスについて学習します。							

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a・b 講座			c・d 講座			e 講座			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限	月日	曜	時 限	月日	曜	時 限			
5/13	水	2	5/13	水	3	5/10	日	3	生物の特徴	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
5/27	水	3	6/7	日	6	5/27	水	2			
6/3	水	2	6/15	月	4	6/7	日	6	遺伝子とその働き	R2	
6/8	月	3	7/5	日	3	7/5	日	1			
7/8	水	1	8/26	水	4	7/13	月	2	ヒトの体の調節	R3	
7/19	日	6	9/13	日	6	9/13	日	5			
9/7	月	3	9/28	月	2	9/28	月	2			
10/4	日	3	10/26	月	2	10/26	月	1			
11/15	日	5	11/15	日	5	11/15	日	5	生物の多様性と 生態系	R5	T1 合格後 R4~R6 合格 義務S8時間 出席を満たすと 12月以降 テスト2 受験可能
12/9	水	2	12/9	水	2	12/9	水	2			
12/14	月	2	12/14	月	2	12/14	月	2			
1/13	水	1	1/13	水	1	1/13	水	1	R6		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
7/13	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5,6	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	1,2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/20	水	3	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高校
1/31	日	7	個別指導	全講座対象	朱雀高校

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/02	水	21:00	レポート1、2	・内容不備→受付不可→未提出扱い ・内容不十分→再提出不可
最終	2/03	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

色塗りの課題があります。

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められる。 ・面接指導に意欲的に出席することができる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・添削課題の取組では、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能の応用に課題が見られ、適切に思考・判断し表現するためには、さらなる努力を要する。

添削課題(レポート)の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの未記入等の不備は不合格(評価1)とし再提出となります。
- ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

- ・30点未満は評価1で再考查となります。

面接指導(スクーリング)

- ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	理科	科目	生物上	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担 当 者	秦 詩緒美					
使用教科書	高等学校 生物 啓林館					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	「生物基礎」の学習を基にして、生物の進化、有性生殖、進化のしくみ、生物の系統、生命と物質、代謝について学習します。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限			
5/27	水	2	生物の進化	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/7	日	4			
6/8	月	4	有性生殖	R2	
7/8	水	2			
7/19	日	2	進化のしくみ	R3	
9/7	月	2			
9/28	月	3	生物の系統	R4	T1 合格後 R4~R6 合格 義務 S 8 時間 出席を満たすと 12月以降 テスト2 受験可能
10/21	水	4			
11/15	日	1	生命と物質	R5	
12/9	水	3			
12/20	日	4	代謝	R6	
1/18	月	3			

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
5/24	日	3,4	個別指導	理科全講座	朱雀高
6/21	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	理科全講座	京都八幡高
7/13	月	1	個別指導	理科全講座	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
9/27	日	5,6	個別指導	理科全講座	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
11/29	日	1,2	個別指導	理科全講座	京都八幡高
1/10	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/20	水	3	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/24	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/24	日	3,4	個別指導	理科全講座	京都八幡高
1/31	日	7	個別指導	理科全講座	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/02	水	21:00	レポート1、2	・内容不備→受付不可→未提出扱い ・内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められる。 ・面接指導に意欲的に出席することができる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・添削課題の取組では、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能の応用に課題が見られ、適切に思考・判断し表現するためには、さらなる努力を要する。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備は不合格(評価1)とし再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は評価1で再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	理科	科目	生物下	【 】必修 【○】選択	単位数	2
担当者	秦 詩緒美					
使用教科書	高等学校 生物 啓林館					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	「生物基礎」と「生物上」の学習を基にして、遺伝子の発現、動物の生殖・発生、発生と遺伝子、動物の刺激に対する反応・行動、植物の生殖・発生と刺激に対する反応、個体群と生物群集、生態系について学習します。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/13	水	4	遺伝現象と物質	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/7	日	5			
6/29	月	4	発生と遺伝子の発現	R2	
7/13	月	3			
7/19	日	3	バイオテクノロジー	R3	
8/31	月	2			
10/14	水	1	刺激の受容と反応	R4	T1 合格後 R4~R6 合格 義務 S 8 時間 出席を満たすと 12月以降 テスト2 受験可能
11/2	月	2			
11/25	水	1	動物の行動 植物の環境応答	R5	
12/6	日	4			
12/14	月	3	生態と環境	R6	
1/10	日	4			

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対象	場所
5/10	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
5/24	日	3,4	個別指導	理科全講座	朱雀高
6/21	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	理科全講座	京都八幡高
7/13	月	1	個別指導	理科全講座	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
9/27	日	5,6	個別指導	理科全講座	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
11/29	日	1,2	個別指導	理科全講座	京都八幡高
1/10	日	5	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/20	水	3	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/24	日	1,2	個別指導	理科全講座	朱雀高
1/24	日	3,4	個別指導	理科全講座	京都八幡高
1/31	日	7	個別指導	理科全講座	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/02	水	21:00	レポート1, 2	・内容不備→受付不可→未提出扱い ・内容不十分→再提出不可
最終	2/03	水	21:00	レポート3, 4, 5, 6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められる。 ・面接指導に意欲的に出席することができる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・添削課題の取組では、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能の応用に課題が見られ、適切に思考・判断し表現するためには、さらなる努力を要する。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備は不合格(評価1)とし再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は評価1で再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	理 科	科目	物理基礎	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担 当 者	戸田 和樹					
使用教科書	改訂 高等学校 物理基礎 第一学習社					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科的な見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/13	水	4	R1(物体の運動)の解説、学習の進め方について説明	R1	R1~R3 合格で 7月以降テスト1 受験可能 T1 合格後 R4~R6 合格 義務S8時間 出席を満たすと 12月以降 テスト2 受験可能
5/27	水	4	個別指導	R1~6	
6/15	月	3	個別指導	R1~6	
7/8	水	2	個別指導	R1~6	
8/26	水	4	個別指導	R1~6	
9/13	日	5	個別指導	R1~6	
9/28	月	2	個別指導	R1~6	
11/11	水	4	個別指導	R1~6	
11/15	日	6	個別指導	R1~6	
11/30	月	2	個別指導	R1~6	
12/20	日	2	個別指導	R1~6	
1/18	月	4	個別指導	R1~6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
7/13	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5,6	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	1,2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/20	水	3	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/31	日	7	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/02	水	21:00	レポート1、2	・内容不備→受付不可→未提出扱い ・内容不十分→再提出不可
最終	2/03	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められる。 ・面接指導に意欲的に出席することができる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・添削課題の取組では、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能の応用に課題が見られ、適切に思考・判断し表現するためには、さらなる努力を要する。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備は不合格(評価1)とし再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は評価1で再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	理 科	科目	化学基礎	【 】必修【 ○ 】選択	単位数	2
担 当 者	水谷 秀樹					
使用教科書	改訂版 新編 化学基礎 数研出版					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察等を行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/13	水	4	学習の進め方、物質の構成	R1	R1~R3 合格 で、7月以降に テスト1を受験 可能。 T1 合格後、R4 ~R6 合格、義 務 S 8 時間出 席を満たすと、 12 月以降にテ スト2を受験可 能。
6/08	月	3	物質の構成	R1	
7/08	水	3	物質の構成粒子	R2	
7/13	月	4	物質の構成粒子	R2	
8/26	水	3	粒子の結合	R3	
9/13	日	2	粒子の結合	R3	
10/04	日	3	物質と化学反応式	R4	
10/21	水	3	物質と化学反応式	R4	
11/18	水	3	酸と塩基の反応	R5	
11/30	月	3	酸と塩基の反応	R5	
12/14	月	3	酸化還元反応	R6	
1/10	日	1	酸化還元反応	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
7/13	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5,6	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	1,2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/20	水	3	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/31	日	7	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/02	水	21:00	レポート1、2	・内容不備→受付不可→未提出扱い ・内容不十分→再提出不可
最終	2/03	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められる。 ・面接指導に意欲的に出席することができる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・添削課題の取組では、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能の応用に課題が見られ、適切に思考・判断し表現するためには、さらなる努力を要する。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備は不合格(評価1)とし再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は評価1で再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	理科	科目	地学基礎	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担当者	奈良 武彦					
使用教科書	改訂版 高等学校 地学基礎 数研出版					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	我々がくらす地球における地学的な自然現象や事物について科学的に理解することを目指します。レポートや面接指導で培った知識を活かし、防災について考察を深めることも目指します。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限			
5/13	水	3	地球の概形・地球の大きさの測定	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
6/7	日	3	地球楕円体・地球の構造・	R1	
6/29	月	4	プレートテクトニクス	R2	
7/13	月	2	プレートの運動のしかた	R2	
7/19	日	5	地震	R3	
9/13	日	1	火山	R3	
9/28	月	2	地層の形成	R4	R4~R6 合格で 12月以降 テスト2 受験可能
10/4	日	2	古生物の変遷と地球環境	R4	
11/15	日	5	地球の熱収支	R5	
12/9	水	3	大気と海水の運動	R5	
1/18	月	2	太陽系と太陽	R6	
1/27	水	2	宇宙の誕生	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
7/13	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5,6	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	1,2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/20	水	3	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/31	日	7	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/02	水	21:00	レポート1、2	・内容不備→受付不可→未提出扱い ・内容不十分→再提出不可
最終	2/03	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められる。 ・面接指導に意欲的に出席することができる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・添削課題の取組では、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能の応用に課題が見られ、適切に思考・判断し表現するためには、さらなる努力を要する。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備は不合格(評価1)とし再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は評価1で再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	理 科	科目	天気と気象	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担 当 者	奈良 武彦					
使用教科書	よくわかる天気と気象 ユーキャン自由国民社					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容 目標等	最も身近な自然現象である天気(大気の物理・化学的な現象)を科学的に理解することで身近な自然の事物・現象に対する観察力や思考力を深めるとともに、防災意識を高める。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a 講座			b 講座			スクーリング内容	R 番 号	テスト
月日	曜	時 限	月日	曜	時 限			
5/10	日	3	5/10	日	2	人類と天気・気象の歴史	R1	R1~R3 合格で 7月以降 テスト1 受験可能
5/27	水	2	5/27	水	3	温帯低気圧の構造、気象観測のしくみ	R1	
7/5	日	2	7/5	日	1	大気の特徴、大気の循環のしくみ	R2	
7/8	水	1	7/8	水	2	風がふくしくみ	R2	
9/7	月	2	9/7	月	3	災害をもたらす気象現象	R3	
9/16	水	3	9/16	水	2	台風のしくみ、警報の種類	R3	
10/7	水	2	10/7	水	1	地球温暖化	R4	R4~R6 合格で 12月以降 テスト2 受験可能
11/11	水	2	11/11	水	3	山岳気象、二十四節気	R4	
11/30	月	1	11/30	月	2	気象にまつわるショートストーリー	R5	
12/6	日	2	12/6	日	3	気象にまつわるショートストーリー	R5	
12/20	日	4	12/20	日	3	天気予報が楽しくなる天気図の見方	R6	
1/13	水	2	1/13	水	1	様々な季節の天気図	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
7/13	月	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5,6	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/4	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	1,2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/20	水	3	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/31	日	7	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/02	水	21:00	レポート1、2	・内容不備→受付不可→未提出扱い ・内容不十分→再提出不可
最終	2/03	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組み、前向きな姿勢及び努力が十分に認められる。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲が見られる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができる。
B	・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組み、その努力が認められる。 ・面接指導に意欲的に出席することができる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能がある程度定着し、日常の場面で活用することができる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能を応用して、思考・判断し、表現することができる。
C	・添削課題の取組では、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められる。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられる。	・添削課題の学習過程及び考查結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められる。	・添削課題の学習過程、考查結果により、知識・技能の応用に課題が見られ、適切に思考・判断し表現するためには、さらなる努力を要する。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備は不合格(評価1)とし再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は評価1で再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。
